

1 - 1 防災に係る共同住宅の保有性能の分類

- ・ここでとりあげる共同住宅における「防災」性能とは、大地震において倒壊を免れた建物の中で生活を継続する(=生活性能維持)ための性能をいう。
- ・災害後の生活性能維持に関する項目は、「生活継続可能日数」、「継続利用可能性」、「生活継続の利便性」とに関する項目として分類できる。

大分類	中分類		小分類
震災後の生活性能維持	生活継続可能日数に関する項目	電力の確保	発電機用燃料の備蓄量増加
			コージェネレーション設備の設置
			太陽光発電設備の設置
			非常用発電機の間欠運転
			電力の二方向引き込み
		上水の確保	受水槽の大型化
			雨水利用・二系統給水
			消火配管の臨時仮設利用
			河川水の臨時利用
	建物引き込み給水管の強化		
	建物引き込み排水管の強化		
	継続利用可能性に関する項目	備蓄	食料・飲料水の備蓄
		下水の確保	簡易トイレの備蓄
		ガスの確保	中圧ガス利用
		エレベーターの運行確保	エレベーターの機器等の固定の強化
			エレベーターの自動復帰運転プログラム
建築二次部材の耐震		玄関扉の開閉障害防止	
		住戸内の家具の移動転倒防止用下地の設置	
生活機能の利便性に関する項目	情報	インターホンシステムの活用	